



サンデージョギング大会で
左から東海林真一さん(保戸
野)と遠藤威さん(東通)

ジョギングで健康づくり

毎週日曜日、市内31コースあるうちの千秋公園でジョギングを楽しんでいます。天気の良い日には子どもからおとしりまで100人も集まります。四季の移り変わりを感じながら走ると、気分も爽快。体の調子もよくなり、友だちもできますよ。

おしゃべり

視覚障害者の歩行にご理解を

視覚障害者協会の熊谷幸二郎さん

ようやく外出が楽しい時期となりました。私たち視覚障害者も外へ出かける機会が多くなると思います。そこでお願ひがあります。

歩道に敷かれた黄色のデコボコは、視覚障害者が安全に歩けるようにするための点字ブロックというものです。これができることによって、全盲の人はデコボコを足で感じ、弱視の人は黄色の色をたよりに歩けるようになりました。これは私たちにとって、正に安全道と言うべき、ありがたい道です。

ただ困るのは、この点字ブロックの上に、車や自転車、立て看板などが置かれていることです。私たちは、耳で騒音を聞き分け、白杖や足で路面(点字ブロック)を確かめ、ぎりぎりの能力で歩いていますので、前方にある障害物には全く気づきません。ですから、歩く先に障害物があると必ず衝突し、車に傷をつけたり、自転車や立て看板を倒したり、自分でもケガを負うこととなります。

そんなトラブルを避けるため、みなさんも点字ブロックがまっすぐに見通しのきく状態になっているだろうかと、お心くばりをお願いできれば幸いです。私たちも十分気をつけて歩行しますので、よろしくお願ひいたします。

かわいひごと



写真左から山崎さん、土田さん、齊藤さん

ひと

都道府県対抗で全国三位に

三月二十七日から二十九日まで東京で開かれた中学生の第十一回都道府県対抗バスケットボール大会で、参加四十八チームの激戦を勝ち抜き、堂々三位の成績をおさめた秋田県女子選抜チーム。メンバー十二人のうち、秋田市からは山崎舞さん(桜中三年)、土田佳美さん(桜中三年)、齊藤由紀子さん(土崎中三年)の三人が出場し活躍してきました。

小柄ながらも山崎さんがポイントゲッターのフォワードで、土田さんと齊藤さんはセンター。予選リーグで長崎県、徳島県を破り、決勝トーナメント準々決勝では福島県チームに一点差で競り勝ち、準決勝まで駒を進めました。

三人とも小学校四年からバスケットを始めたという仲のいいライバル。小学校の時はほとんど一回戦負けだったんです。

と、中学生になってからメキメキ腕をあげたという山崎さんと土田さん。コーチの田口武美先生(城東中)は、「走る、跳ぶ、投げるといった基礎的な力がきちんとしていたからでしょうね」と、成長の秘けつを語ります。

スピード、技、持久力。そして個人技とチームプレーのバランスが要求されるバスケットボール。「今年も一戦、一戦、精いっぱいを出してがんばります!」。スポーツで、勉強で、元気にはばたく秋田っ子です。

バスケット全県チームでがんばりました

広報クイズ⑦

答えは4月10日、24日の「広報あきた」の記事中に。

- 3月30日に開通した秋田南大橋の建設費は、約何億円だったでしょうか?
- 太平山リゾート公園にある森林学習館に、新しくついた愛称は?

応募方法 はがきに答えと住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書いて、5月8日(金)(必着)まで、〒010-8560秋田市役所広報課へ。☎(66)2034

前回のクイズの答えは、問1が「イソップ号」、問2が「明石康」さんでした。全問正解177通の中から、当選した小野君枝さん(寺内字神屋敷)、佐藤イネさん(土崎港東一丁目)、佐藤マリ子さん(飯島松根東町)、須田茂さん(横森二丁目)、横田ミエさん(港北新町)の5人には図書券をお送りします。

読者の伝言板

クイズの答えと一緒に、ほのぼのとした“ひとこと”を、お待ちしております。

秋田城跡の東門が完成、春を感じながら散策を楽しみたいと思います(柏木武男 71歳・泉) 先日、サツキを冬囲いから開放したら若芽がいつぱい、開花が楽しみです(松村隆 66歳・千秋) 今年もバツケの天ぶらを食べました。次はツクシのあえ物が楽しみです。長い冬のあとだから格別においしいです(横山喜代子 58歳・新屋) やつと洗濯物を外に干せる季節が来ました。太陽をいっぱい浴びた真っ白な洗濯物を見ると幸せな気持ちになります(角間崎 恵 35歳・土崎港) 秋田南大橋が開通、車の交通量もかなり増えると思いますが、仁井田小の子どもたちに事故のないことを願っています(虻川ヨミ子 50歳・御野場) 犬を飼っているかたは犬のフンのマナーを守ってください。気持ちの良い散歩がしたいのです(高田トモ 64歳・土崎港) 瀬戸内海の転勤先でいつも口ずさんだ男鹿小唄は市営観光バスで教わった青春の思い出。かつての同僚は素敵なガイドさんと結婚。数々の楽しい思い出をくださった市営観光バスに、ありがとう!(外旭川のセンチ老体さん) 本は好きだけど、そんなに明徳館に行くことができないので、イソップが家の近くに来てくれるとうれしいな(山本恵利 11歳・広面) 若い世代にも楽しめる広報あきたになってきましたね(小松美緒 15歳・牛島) // 敬称略 //

係からひとこと
今回は特集で消費問題を取りあげています。市民一人ひとりが、それぞれの暮らしを重視するようになって、この問題に対する関心が高まっているようです。モノやサービスなどの質や価格を、私たち自身が厳しくチェックしていこうとする姿勢は、とても大切なことだと思います。
ただ、こういった問題に関心を持つ男性はまだ少ないという現実。買い物ひとつとってみても、性別や年齢に関係なく、一人ひとりが賢い消費者となつて、もっと目を光らせていくべきではないでしょうか。(本間)